

施策	4101 地域医療の充実						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民						
施策が目指す姿	地域の医療機関や中核病院等の充実、地域拠点等における医療福祉機能などの充実、かかりつけ医の普及・啓発、市民への適正受診の普及啓発を図る。						
成果指標	人口10万人当たりの医師数...5年間(平成25年度～平成29年度)で150人(現状値119人)						
目標達成状況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標1 [人]	予定	119.00	119.00	119.00	150.00	150.00
		実績	119.00	119.00	115.30	115.30	
	成果指標2 []	予定					
		実績					
	成果指標3 []	単位コスト					
		予定					
	成果指標4 []	実績					
		単位コスト					
	トータルコスト (千円)	予定	1,837,038	2,632,981	1,964,182	508,259	
実績		1,515,871	2,532,577	1,814,261	514,463		
内部評価	貢献度	上位施策の「地域医療の市民満足度」等を向上させるためには、医療機関等の充実により医師の確保を図ることが重要であることから本単位施策の目標達成による貢献度は高い。					
	達成状況	とちぎメディカルセンターの整備・運営に対する支援を行い、医師確保の環境は整いつつある。					
	課題	地域医療の充実を図る上で、とちぎメディカルセンター整備等の支援を行い、医師確保に向けた環境は整いつつあるが、全国的にも医師不足は深刻である。					
	取組方針	地域医療充実のため、県や大学病院等とも連携して医師の確保を図りたい。					
外部評価	<p>今後も安定した質の高い医療を提供していくために医師の確保に努め、安心して医療が受けられる体制づくりを期待する。データヘルズ計画等の活用により、重複医療の削減等で医療の効率を上げる方策も必要である。</p> <p>また、退院後の在宅医療の充実も重要であることから、在宅医療と福祉の連携強化に期待する。</p> <p>かかりつけ医の普及・啓発は在宅医療の推進に向けて積極的な取組みが求められるため、医師会の協力を得て取組む必要がある。</p>						
単位施策達成のための事務事業	事業コード	名称				トータルコスト(千円)	達成度
	273301	栃木地区病院統合再編事業費				12,947	100
	273401	とちぎメディカルセンター運転資金貸付金				500,750	100
	273201	地域医療対策基金積立金				766	1

平成28年度

単位 施策評価表 補表

施策	4101 地域医療の充実		
区分	妥当性	妥当	地域医療の充実を図るうえで必要な支援事業であり妥当である。
	コスト削減の余地	無	病院の財務状況を勘察し、状況を見極める。
	受益者負担	適正	支援策であり受益者負担は求めている。
	上位貢献度	有効	上位施策である「地域医療の市民満足度」の向上に直接つながることから貢献度は高い。
	類似事業の有無	無	類似事業はない。
	成果向上の余地	有	上位施策の達成に向け関係機関との連携が重要である。
内部評価	貢献度	とちぎメディカルセンターへの支援は、地域医療の充実や救急体制の充実につながることから貢献度は高い。	
	達成状況	医師確保に向け、大学病院に働きかけを行っているが思うような成果が得られてない。	
	課題	地域医療の充実のため、医師確保について関係機関との連携が重要である。産科についても、大学病院等に引き続き働きかけを行っていく。	
	取組方針	地域完結型医療を目指すとともに、引き続き地域医療の充実のため、今後も関係機関と連携し支援を継続する。	

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 28 年度

会計	一般	款項目	040101	予算事業コード	273301	事業区分	03	管理的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	栃木地区病院統合再編事業費										主	4101	医療体制の充実		地域医療の充実		
担当部課 係・担当チーム名	保健福祉部 健康増進課 地域医療対策係						担当者	石川交子				従					
事業の性質	2	自治事務		根拠法令等								事業期間	H23 ~ H33 年度		全体事業費 (人件費除)	3,700,000	千円
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)までに、誰(何)を、どうの方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 栃木地区3病院(下都賀総合病院、下都賀郡市医師会病院、とちの木病院)の統合再編及び施設整備等に対して市が支援を行う。 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成33年度)の目標) 3病院の統合再編及び施設整備等が完了し、地域医療の充実が図られる。					
											成果目標	人口10万人当たりの医師数...5年間(平成25年度~平成29年度)で150人(現状値119人)					

単位：千円、人		平成27年度決算額	平成28年度決算見込															
事業費・指標の推移	国庫支出金	0	0	事業の内容 その成果	平成27年度 【事業の内容】 ・一般財団法人とちぎメディカルセンターへ施設整備補助金を交付する。 ・第1病院(仮称)建設用地借地料の支払い。 【成果】 ・法人への補助金交付により、施設整備を支援した。 ・第1病院(仮称)建設用地借地料の支払いを行い、新病院整備事業を支援した。	平成28年度 【事業の内容】 ・第1病院(仮称)「新名称：とちぎメディカルセンターしもつが」病院敷地借地料の支払い。 ・病院開院に伴う案内板設置の支援。 【成果】病院敷地賃借料の支払いを行った。しもつがの開院に合わせ、12か所の案内看板を市内に設置し支援を行った。												
	県支出金	0	0															
	地方債	0	0															
	その他特財	955,525	9,438															
	一般財源	0	2,009															
	事業費 a	955,525	11,447															
	人件費 b	10,500	1,500															
減価償却費 c	0	0																
総事業費 a+b+c	966,025	12,947	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地						
結果指標 1	99.00	100.00	事業進捗率	(実施事業費累計/全体事業費) × 100 H28目標値 99%	%								妥当	無	適正	有効	無	有
結果指標 2																		

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入)											
	平成28年4月に支援を行ってきたとちぎメディカルセンターの各施設が開院した。このことに伴い、市内各所に案内板を設置し、支援を行った。また、病院敷地賃借料の支払いを行い病院運営の支援を行った。賃借料については、半期ごとに歳入有り											

事後評価備考												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--